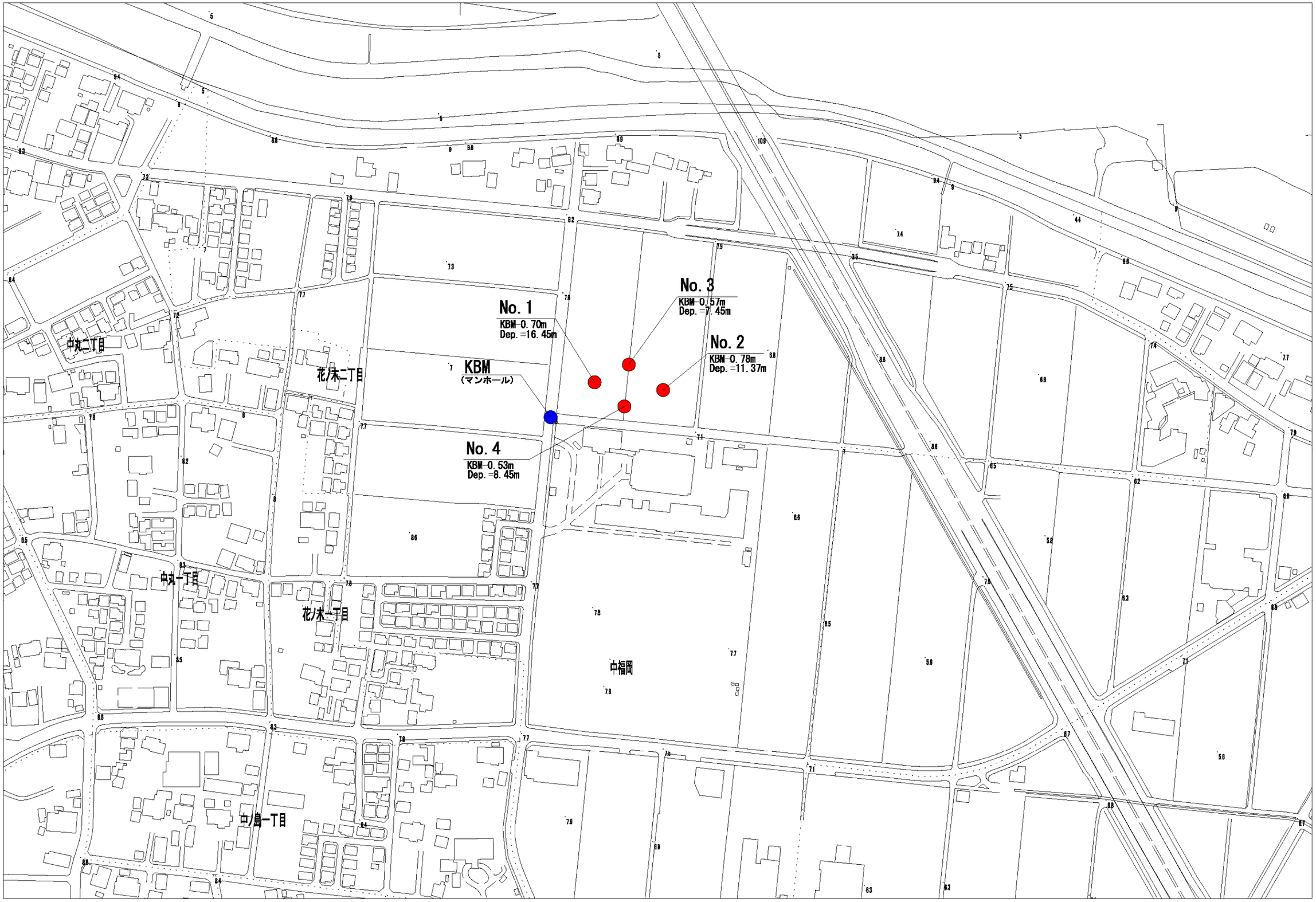

図 1.1.1　調査位置図（S=1/2500）

ボーリング柱状図

調　査　名　上福岡学校給食センター施設用地地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	3	3	9	6	4	5	2	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	ふじみ野市中福岡字宮田地内			北緯	35° 52' 40.8800"
発注機関	ふじみ野市教育委員会教育総務部学校給食課	調査期間	平成24年12月 3日～平成24年12月 5日			東経	139° 32' 04.9600"
調査業者名	株式会社 協和地質コンサルタント 電　話 048-964-9620	主任技師	石原　守	現場代理人	根本　和也	コア鑑定者	石原　守
ボーリング責任者	金岡　勝己						
孔口標高	KBM -0.70m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	半自動型			
総掘進長	16.45m	エンジン	NFD-10	ポンプ	KANO-V6		

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-1.40	0.70	0.70		表土	暗黄褐			上部、暗褐色の耕作土。粘り気は強い。草根を多量に混入する。
1	-2.30	0.90	1.60		有機質土	黒褐		極軟	繊維状の有機物を多量に混入。粘り気はやや強い。
2 3 4					粘土	暗褐		軟	火山灰質な粘性土。水気、粘り気ともに中位。少量の有機物を薄層状に混入。
5	-6.00	3.70	5.30						
6 7 8	-9.40	3.40	8.70		砂礫	暗黄褐	極密		礫は、φ2～20mm程度の亜円礫を主体とする。マトリックスは粘土分を混入する粗砂を主体とする。最大礫径30mm程度。
9 10	-11.25	1.85	10.55		粘土	緑青灰		硬	上部0.5mは黄褐色を呈す。水気は多く、粘り気は強い。GL-9.2m以深、緑青灰を呈し、粘り気、水気ともに中位となる。少量の微細砂を混入する。
11 12 13 14 15	-16.50	5.25	15.80		砂礫	暗黄褐	極密		礫は、φ2～40mm程度の亜円礫を主体とする。マトリックスは細砂を主体。最大礫径50mm程度。GL-12～14m、やや礫径小さくなりφ2～20mm程度を主体とする。
16	-17.15	0.65	16.45		シルト	暗灰		中位	均質なシルト。少量の有機物を混入する。
17									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.15～1.46	1			1/31	1							
	12/3 2.50	2.15～2.47	1	1	1	3/32	3	2.50	LLT					
		3.15～3.45	1	1		2/30	2			3.00	1-1	Ⓣ	物理 三軸圧密	
		4.15～4.45	1	1	1	3/30	3			3.80				
		5.15～5.45	2	8	11	21/30	21							
		6.15～6.32	25	25		50/17	50以上							
		7.15～7.43	20	17	13	50/28	50以上							
		8.15～8.40	19	21	10	50/25	50以上							
		9.15～9.45	3	3	4	10/30	10			9.30	1-2	Ⓓ	物理 一軸圧密	
		10.15～10.45	2	2	3	7/30	7			10.20				
		11.15～11.20	50			50/5	50以上							12/3
		12.15～12.35	23	27		50/20	50以上							
		13.15～13.26	46	4		50/11	50以上							
		14.15～14.27	40	10		50/12	50以上							
		15.15～15.25	50			50/10	50以上							
		16.15～16.45	2	2	2	6/30	6							12/4

ボーリング柱状図

調　査　名　上福岡学校給食センター施設用地地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	3	3	9	6	4	5	2	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.2			調査位置	ふじみ野市中福岡字宮田地内							北緯	35° 52' 40.6800"
発注機関	ふじみ野市教育委員会教育総務部学校給食課					調査期間	平成24年12月 3日～平成24年12月 4日					東経	139° 32' 07.2700"
調査業者名	株式会社 協和地質コンサルタント 電　話 048-964-9620			主任技師	石原　守	現場代理人	根本　和也	コア鑑定者	石原　守			ボーリング責任者	金岡　勝己
孔口標高	KBM -0.78m	角度	180° 上 下 90° 0°　0°	方向	北 0° 270° 西　東 90° 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100		ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	11.37m								エンジン	NFD-10		ポンプ	KANO-V6

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
	-1.58	0.80	0.80		表土	暗褐			粘性土主体の耕作土。 草根を多量に混入する。		
1	-2.68	1.10	1.90		有機質土	黒褐		極軟	繊維状の有機物を多量に混入。 粘り気は中位。		12/ 3 1.90
2					粘土	暗褐		極軟～軟	火山灰質な粘性土。 水気は少ない。 粘り気はやや弱い。 GL-3m付近、有機物を混入する。 GL-4m付近、暗褐灰に色調変化。		
3											
4											
5	-6.73	4.05	5.95								
6					砂礫	暗灰	極密		礫は、φ3～25mm程度の亜円礫を主体とする。 マトリックスはシルト質細砂。 最大礫径は40mm程度。		
7	-8.48	1.75	7.70								
8					粘土混じり砂礫	暗黄褐	極密		水気は少ない。 礫は、φ3～40mm程度の亜円礫を主体とする。 マトリックスは粘土を主体。 最大礫径50mm程度。 不規則に砂分を混入する。 GL-8m付近、層状に粘土を挟む。		
9											
10											
11	-12.15	3.67	11.37								
12											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15～1.47	0/12	1/20		1/32	1
2.15～2.50	1/35			1/35	1
3.15～3.48	1/33			1/33	1
4.15～4.45	1/17	1/13		2/30	2
5.15～5.45	1	1	2	4/30	4
6.15～6.44	11	17	22/9	50/29	50以上
7.15～7.43	12	18	20/8	50/28	50以上
8.15～8.35	30	20		50/20	50以上
9.15～9.44	16	16	18/9	50/29	50以上
10.15～10.45	10	18	22	50/30	50
11.15～11.37	26	18	6/2	50/22	50以上

原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						12/3

ボーリング柱状図

調　査　名　上福岡学校給食センター施設用地地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	3	3	9	6	4	5	2	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	ふじみ野市中福岡字宮田地内							北緯	35° 52' 41.3400"
発注機関	ふじみ野市教育委員会教育総務部学校給食課			調査期間	平成24年12月 6日～平成24年12月 7日					東経	139° 32' 06.0500"
調査業者名	株式会社 協和地質コンサルタント 電　話 048-964-9620	主任技師	石原　守	現場代理人	根本　和也	コア鑑定者	石原　守			ボーリング責任者	金岡　勝己
孔口標高	KBM -0.57m	角度	180°上 90° 下 0°　0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	7.45m								エンジン	NFD-10	ポンプ KANO-V6

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.67	0.10	0.10		表土	暗褐			粘性土主体。
1	-2.32	1.65	1.75		シルト質粘土	暗黄灰		軟	粘り気は強い。 所々、酸化している。 色調不安定。
2 3 4 5					粘土	暗褐		軟	火山灰質な粘性土。 粘り気は中位。 少量の有機物を混入する。 下部、水気はやや多く、少量の礫を混入する。
6	-6.72	4.40	6.15						
7	-8.02	1.30	7.45		砂礫	黄褐灰	極密		礫は、φ2～20mm程度の亜円礫を主体とする。マトリックスは粗砂を主体。少量の粘土分を混入。最大礫径30mm程度。
8									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
		1.15～1.45	1	1	1	3/30	3
	12/ 6 2.65	2.15～2.48	1/13	1	1	3/33	3
		3.15～3.48	1/20	1/13		2/33	2
		4.15～4.45	1	1/7	2/13	4/30	4
		5.15～5.45	1	1	1	3/30	3
		6.15～6.42	15	16	19/7	50/27	50以上
		7.15～7.40	17	18	15/5	50/25	50以上

原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
6.20～6.70	透水試験					12/6

ボーリング柱状図

調　査　名　上福岡学校給食センター施設用地地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	3	3	9	6	4	5	2	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	No.4	調査位置	ふじみ野市中福岡字宮田地内							北緯	35° 52' 40.3100"
発注機関	ふじみ野市教育委員会教育総務部学校給食課			調査期間	平成24年12月 7日～平成24年12月 8日					東経	139° 32' 05.9500"
調査業者名	株式会社 協和地質コンサルタント 電　話 048-964-9620	主任技師	石原　守	現場代理人	根本　和也	コア鑑定者	石原　守			ボーリング責任者	金岡　勝己
孔口標高	KBM -0.53m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具 半自動型
総掘進長	8.45m								エンジン	NFD-10	ポンプ KANO-V6

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.93	0.40	0.40		表土	暗褐			粘性土を主体とする。
1	-2.13	1.20	1.60		シルト質粘土	暗黄灰		軟	粘り気は強い。 所々、酸化している。 色調不安定。
2	-2.68	0.55	2.15		有機質土	黒褐			繊維状の有機物を多量に混入。
3									
4					粘土	暗褐		軟	火山灰質な粘性土。 粘り気はやや弱い。 少量の有機物を混入する。
5	-6.28	3.60	5.75						
6	-6.98	0.70	6.45		粘土	暗青灰		極軟	粘り気は強い。非常に軟らかい。
7					砂礫	黄褐灰	極密		礫は、φ2～20mm程度の亜円礫を主体とする。 マトリックスは粗砂を主体。 最大礫径50mm程度。
8	-8.98	2.00	8.45						
9									

粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
	12/ 7 2.40	1.15 1.50	1/15	1	1	3/35	3							
		2.15 2.47	1/12	1	1	3/32	3							
		3.15 3.45	1/17	1/13		2/30	2							
		4.15 4.45	1	1/7	2/13	4/30	4							12/7
		5.15 5.46	1/13	1	1/8	3/31	3							
		6.15 6.46	1/31			1/31	1							
		7.15 7.43	14	18	18/8	50/28	50以上							
		8.15 8.45	17	17	16	50/30	50							12/8

N値 0 10 20 30 40 50 60